

- ★ 東京 CPB 第 10 回通常総会を開催しました。  
融資先の社会福祉法人悠遊から、“融資後のいま”を報告していただきました。
- ★ たくさんの皆さまからのサポート会費、ありがとうございます！！
- ★ 新体制になりました。新任理事のメッセージを紹介します。
- ★ 『特定非営利活動法人 シーズ・市民活動を支える制度をつくる会』に融資しました。
- ★ 立教大学コミュニティビジネスの授業で活動紹介をしました。
- ★ 影山知明さんをゲストに、10月26日(土)13:30~10周年記念フォーラム開催！！

## 第 10 回東京 CPB 通常総会を開催

2013年6月8日、生活クラブ館(世田谷区宮坂)にて第10回の東京CPB通常総会を開催しました。会員601名のうち、出席24名、委任状201名で会は成立。議長に選出された前田歩美さんの進行で、活発に意見が出されました。2012年度活動報告、2013年度活動方針、新役員の選出、すべてが承認され、新体制のもと新年度がスタートしました。

今年では設立から10年目の節目の年です。

東京CPBは、市民の意志ある出資金9000万円余をもとに、社会問題を解決するNPOやワーカーズ・コレクティブに2億2300万円超の投融資を行っていますが、2013年度は新たなしくみや他団体との積極的な連携を検討し、さらに活動を広げていきます。



**融資団体報告**  
(社福) 悠遊  
「生活クラブ・ケアセンター世田谷」の建設

総会に先立ち、融資団体の社会福祉法人悠遊(以下「悠遊」)の鈴木礼子理事長より、融資事業の詳細やその後の活動について報告していただきました。

生活クラブ組合員の寄付で設立した「悠遊」は、西東京市でデイサービス、グループホーム、ホームヘルプサービス、地域包括支援センターなど生協協会の社会福祉法人として成長してきました。このたび、生活クラブ配送センター跡地の有効利用を担うことになり、活動を世田谷区に広げ、新たな施設を建設することになりました。



お散歩の時間

その建設にかかる補助金のつなぎとして、東京CPBは1000万円の融資をしましたが、既に完済いただいています。

長年、誰もがその人らしく暮らすためのまちづくりをめざしてきた「悠遊」に、生活クラブ運動グループの仲間として関わることができたことは東京CPBにとって大変嬉しいことです。

生活クラブ・ケアセンター世田谷は、小規模多機能ホームみんなんち、グループホームちとせ、支援サービスちとせ、NPO たすけあいワーカーズえん千歳の4つの事業を備える施設です。



## 御礼 ～ サポート会費 1,469,000 円をありがとうございました。

東京 CPB の運営費として、大切にに使わせていただきます。紙面にてあらためて御礼を申し上げます。

饗庭寿夫様、浅野幸子様、麻生純二様、安藤紀久様、石山佳奈様、池口葉子様、石川紀様、今江悦子様、入江久美様、NPO ACT 町田たすけあいワーカーズ様、上坂胡桃様、遠藤寿子様、岡本庸世様、萩原春代様、奥田雅子様、小野寺京子様、笠間伊基子様、加藤節子様、金尾敏恵様、企業組合あうん様、楠靖子様、工藤春代様、神津真紀子様、小松久子様、小山美香様、斉藤恵美子様、酒井真一様、佐々木貴子様、塩田三恵子様、重田益美様、庄妙子様、鈴木廣子様、鈴木礼子様、生活クラブ生協様、勢べいつ様、高橋晃子様、高谷恭子様、田辺雪子様、辻利夫様、坪井眞里様、永嶋和子様、中西佳代子様、南雲玲子様、名和三次保様、沼畑向子様、羽場真美様、平尾ななお様、樋口蓉子様、平井千代子様、福島佐江子様、福田恵子様、藤井道代様、布施佳子様、堀内八千代様、前田歩美様、松澤邦栄様、松原和子様、林川安伊子様、村上俊一様、吉田邦子様、八木昭子様、柳本悦子様、山口美紗子様、吉田恵美子様、吉田由美子様、米倉克良様（2013 年 8 月 10 日現在、順不同）

### 新役員を紹介します



新しく理事に就任いたしました浅野でございます。

阪神・淡路大震災における災害支援活動を皮切りに、民間非営利組織で働いてきました。ボランティア元年、NPO 法の制定など、当時は 4 年間いた被災地の現場で、市民社会の変容に期待を寄せていました。

金融の専門家ではありませんが、やはり資金が無ければ十分な活動はできない、というのが当時の切実な思いであり、そのため、CDC（まちづくり法人）や助成財団、寄付といったことに関心を持ってきました。どうぞよろしく願い申し上げます。

理事：浅野幸子（大学非常勤講師・早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」研究員）



理事長：坪井眞里

副理事長：植田泉（後列右から 3 人目）・  
小山美香・吉田由美子

理事：浅野幸子（前列まんなか）・池口葉子・  
佐々木貴子・庄妙子

監事：遠藤寿子・丹野章子（税理士）

顧問：金岡良太郎・林泰義

今回理事になりました、生活クラブ生協の植田泉です。

約 10 年前、東京 CPB をはじめ生活クラブが「21 世紀型地域づくり構想」で描いた機能がひとつひとつ現実になっていきました。当時生活クラブの理事になったばかりだった私は『生活クラブは食だけじゃない。本当にまちづくりを支える運動を起こしている』と誇らしさとワクワク感を覚えていました。

私の役目は、私が感じた誇らしさを、今の生活クラブのまち運営委員、新しい理事たちをはじめ組合員に実感してもらい、起業したい人、市民事業を上げたい人にそれを現実化するための道具としての東京 CPB の存在を伝えていくことが一番だと思っています。そういう機会を多くつくりだしていきたいと思います。

副理事長：植田泉（生活クラブ生活協同組合 副理事長）

## あなたのお金が市民事業を支えています～融資報告

### (特非) シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 (以下、シーズ) に融資しました。

2013年4月～2014年3月に行われる、地球環境基金の助成金事業「東日本大震災被災3県(岩手、宮城、福島)における環境NPO認定化支援活動」事業をシーズが受託しましたが、事業終了後に受託金が支払われるため、事業に必要な資金を融資しました。

2011年6月に新寄付税制が成立、2012年4月にNPO法が改正され、多くのNPO法人が認定を取得しやすくなり、寄付が集めやすくなりました。しかし、とりわけ被災地では制度の普及が不十分です。

現在約1800のNPO法人が被災3県では活躍しており、まちの復旧、海中の環境回復や津波被害地の復興、自然観光資源の復元、防風林の再生などに取り組んでいますが、認定NPOは9団体のみです。

現在は、政府や民間から復興の支援が寄せられていますが、時間の経過とともに寄付金や支援が減少していく傾向にあります。シーズは、制度改正運動の中心を担い、昨年度は東京都の新しい公共支援事業の認定NPO法人化支援や、内閣府の被災地で活躍するNPO法人の認定申請加速化にむけた現状調査事業を実施。制度の普及活動や個別相談で実績を重ねており、全国で最も実現力の高い認定支援ノウハウを蓄積していること、市民活動とそれを支える制度の発展に尽力してきた実績を評価し、融資を決定しました。

融資金額 450万円 融資期間 10ヶ月  
金利 1.5% 資金使途 助成金のつなぎ



#### 認定NPO法人とは？(内閣府HPより)

NPO法人のうち、一定の要件を満たす法人は、所轄庁(都道府県又は政令指定都市)から認定されることで、税制上の優遇措置を受けることができます。法人への寄附を促すことにより、NPO法人の活動を支援することを目的としています。

また、設立後5年以内のNPO法人については、スタートアップ支援のため、要件からパブリック・サポート・テスト(PST)が免除され、税制上の優遇措置が認められる仮認定を1回に限り受けることができる仮認定NPO法人制度が新たに導入されました(平成27年3月31日までは、設立後5年を超えたNPO法人も仮認定を受けることができます)

### 東京 CPB 10 周年のおしらせ

東京 CPB 10 周年記念フォーラム

「まちを育てる  
わたしのお金 あなたのお金」

記念講演：『新しい経済と、新しい金融』

講師：影山知明さん

(「クルマドコーヒー」<http://kurumed.jp/> 店主)

日時：10月26日 13:30～16:50

場所：新宿 NPO 協働推進センター

ご参加ください！詳しくは HP、またはお電話で。

( 会員：無料・ 非会員：資料代 1000 円)



新宿NPO協働推進センター

新宿区7高田馬場4-36-12 (西戸山第二中学校跡施設)

・JR・西武新宿線・東京メトロ東西線高田馬場駅徒歩15分

・都営バス・関東バス「小滝橋」バス停徒歩4分

## 若者たちの見た、東京コミュニティパワーバンク

7月に、立教大学コミュニティ福祉学部の授業で東京 CPB の事例発表をさせていただきました。市民による市民のための非営利金融の活動について、学生さんたちが共感と応援のメッセージを送ってくださいましたので、大学のご了解を得て一部紹介させていただきます。

今まで自分が銀行に預けているお金がどのように使われているかなど、考えたこともありませんでしたが、未来に悪影響を及ぼすような使われ方をされていたら怖いなと思いました。

コミュニティ政策学科 3年

電力や原発の中で既得権益者のような人が担っている分野に市民がくい込んでいくように、資金を融資するという活動はとても素晴らしい活動であると思った。難しいこの分野に市民がくい込んでいくことはこれから本当に日本が変わる道しるべになっていくのではとも感じた。

コミュニティ政策学科 3年

本来、高齢者・障がい者支援など国が支援しなければならない課題を市民が立ち上げて支援しているにもかかわらず、国は規制・制度ばかりで、地域のことは地域まかせだなあと少し疑問に思いました。

福祉学科 3年

自分のお金が身近なところで形になるよう地域に根づいた小さな経済をたくさん作っていくのは一石二鳥どころか、良いスパイラルが出来上がるのではないかと思います。「平和」を口で言うだけでなく自分のお金で実現していくことにとても共感しました。

コミュニティ政策学科 3年

私たちがふだん何げなく銀行に預けているお金が戦争や原発建設などに利用され、知らないうちに自分たちの首を絞めている可能性があること知り、不安を覚えました。モノを買う時も預ける時も、お金の行き先をしっかり考えることが大事だと感じました。

福祉学科 3年

NPO バンクというものを初めて知りました。暮らしやすいまち、元気なまち、社会のために営利を求めめるのではなく、このような活動が行われているのはすばらしいと思ったし、広がってほしいと思った。NPO バンクは生活が豊かになるようにお金の循環をサポートしているものだなと思った。

コミュニティ政策学科 2年

### 出資・増資について

東京CPBに出資したいという方を紹介して下さい。資料・加入申込書等お送りします。増資をご希望の方も、ご連絡をお待ちしています。

### サポート会費について

低金利で社会的事業に融資をする東京 CPB は、皆様からのサポート会費で運営しています。ご協力よろしく願いいたします。(一口千円とさせていただきます)  
口座名義:東京CPB(トウキョウシーピービー)  
郵便振替口座:00160-2-684397

### 実績表 2013年7月31日現在

#### ◆会員数・出資金

◆個人会員数:561名 ◆団体会員数:44団体

◆出資金:9,545万円

#### ◆融資・社会的投資(2013年度)

◆融資件数:2件 ◆融資残高:1,227万円

◆累計融資件数:54件 ◆融資累計額:2億783万円

社会的投資額:2,300万円

#### ◆サポート会費ありがとうございます!

団体:3件 個人:67名 計1,469,000円